

2024年7月21日 日曜日

宣証する喜び

ヨハネの福音書4章31節～42節

31 その間、弟子たちはイエスに「先生、食事をしてください」と勧めていた。
32 ところが、イエスは彼らに言われた。「わたしには、あなたがたが知らない食べ物があります。」
33 そこで、弟子たちは互いに言った。「だれかが食べる物を持って来たのだろうか。」
34 イエスは彼らに言われた。「わたしの食べ物とは、わたしを遣わされた方のみこころを行い、そのわざを成し遂げることです。
35 あなたがたは、『まだ四か月あって、それから刈り入れだ』と言ってはいませんか。しかし、あなたがたに言います。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。
36 すでに、刈る者は報酬を受け、永遠のいのちに至る実を集めています。それは蒔く者と刈る者がともに喜ぶためです。
37 ですから、『一人が種を蒔き、ほかの者が刈り入れる』ということばはまことです。
38 わたしはあなたがたを、自分たちが労苦したのでないものを刈り入れるために遣わしました。ほかの者たちが労苦し、あなたがたがその労苦の実にあずかっているのです。」
39 さて、その町の多くのサマリア人が、「あの方は、私がしたことをすべて私に話した」と証言した女のことばによって、イエスを信じた。
40 それで、サマリア人たちはイエスのところに来て、自分たちのところに滞在してほしいと願った。そこでイエスは、二日間そこに滞在された。
41 そして、さらに多くの人々が、イエスのことばによって信じた。
42 彼らはその女に言った。「もう私たちは、あなたが話したことによって信じているわけではありません。自分で聞いて、この方が本当に世の救い主だと分かったのです。」

アウトライン

①イントロダクション～ヨハネの福音書について

- ・ヨハネの福音書の恵み
- ・【前回】②サマリアの女とイエス様のお話。

②御言葉を深める

- ・ 31節～34節 イエス・キリストが霊的な糧について語られる
- ・ 35節～38節 伝道は喜びに満ち溢れている
- ・ 39節～42節 主と主のことばによって本当に救い主であると理解する。

③結 び

- ◎宣証は生涯の信仰を養う。